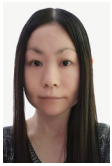
食品、化粧品、医薬品等の安全性評価および食中毒菌の制御に関する研究



食品生命科学科
（食品衛生学研究室）

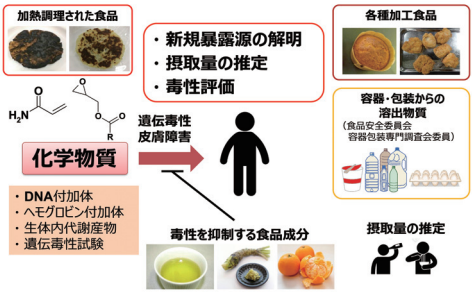
増田 修一、島村 裕子

- 連 絡 先　TEL：054-264-5528，5526　FAX：054-264-5528
- ホームページ　https://dfns.u-shizuoka-ken.ac.jp/labs/foodhygn/

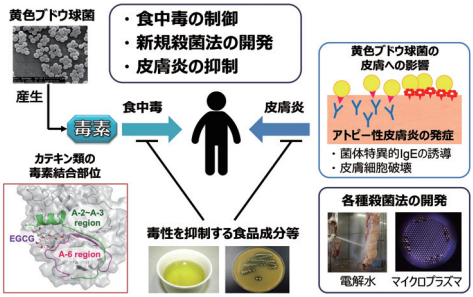
キーワード
安全性，遺伝毒性，化学物質，食中毒菌，殺菌・抗菌，
抗変異原性，皮膚炎

現在、食品の安全性（化学物質、食中毒、食品添加物、農薬、放射能など）に関する問題が起こっており、さらに食品企業においては、HACCP の規制化、ISO22000およびFSSC22000の導入が行われています。当研究室では、食品の安全性に関し、①化学的リスク因子（食品中の化学物質のリスク評価）、②生物学的リスク因子（食中毒菌による生体影響の制御）に関する研究を行っています。このように食品の化学的および生物学的リスク因子を単一研究室で行っている研究室は国内外でほとんどありません。さらに、食品だけでなく、医薬品、化粧品の開発においてもこれらのリスク因子の制御は重要であり、商品・製品の開発にご助言、ご助力させていただくことができると思います。

食品の化学的リスク因子に関する研究



食品の生物的リスク因子に関する研究



アピールポイント

当研究室では、食品をはじめ、化粧品、医薬品等の安全性の評価、および食中毒菌の制御に関する研究を行っており、HACCP や ISO22000導入のための相談も引き受けております。